

心田を耕す心田開発

あらゆる荒蕪は心の荒蕪から起る。その田んぼを耕し(自分の心)美田にするのは自分自身である。みなが田んぼ(自分の心)を持って感謝すべし。わが道は、人々の心の荒蕪をひらくを本意とす。尊徳

『芋こじ』とは、ジャガイモの皮をむくときに桶の中に芋と水を入れて、長い二本の棒と板でこじり(左の写真)芋の皮をむくものです。芋はゴロゴロと桶の中を動き回り、芋どうしが擦れ合って、泥が落ち皮がむけ、スベスベした白い肌の芋になるのです。

これを芋が人間、泥や芋の皮は人の欲心のねじれ、怠惰等を表していると考え、こじ棒は司会者役で、芋が擦れ合う手助けをし、芋どうしが擦れ合うことは、参加者が



徹底した意見交換や切磋琢磨して、お互いに磨き高め合うことと考えられます。

このとき、桶から外に飛び出た芋は、拾って桶に戻したり、話し合いを離れて、よそ事を考えている人を上手に話し合いに巻き込むのは、「こじ棒」に当たる「司会者」の役割といえます。

尊徳はよく「寄り合い」(集会)を開きました。この寄り合いも「芋こじ」と称し、農民相互に知恵を出し合い、相互扶助の考え方を広めていきました。

尊徳の孫の尊親は、開拓の疲れから体を休めるための「農休日」と合わせて、全員による「寄り合い」を開きました。

このことは転じて、対話や話し合いを通して人が互いに磨き合う教育の在り方をも指すようになり、今日の教育でも重要視されています。



現在この目指す教育に向けて、教育改革がすごい勢いで進められています。このことは豊頃町の各小・中学校も例外ではありません。

『報徳のおしえ』は単なる昔の話ではなく、今日に生きる私たちや未来を生き抜く子どもたちへの生き方や教育に大きな示唆を与えてきています。

この『報徳のおしえ』は、これからも大切に受け継がれて実践していかねばなりません。

『報徳のおしえ』とよこら

『21世紀の教育の在り方』を支える！



二宮尊徳(金次郎)心に響く名言・格言

百万石の米といえども粒の大なるにあらず
万町の田を耕すもそのわざは一鍬すつの功による

21世紀を生きる力「芋こじ」

「芋こじ」を学校教育に当てはめると、桶は教室・学校であり、芋の一個一個が一人一人の子どもたちです。こじ棒や長い板が先生(教師)です。板によって動かされた芋が、互いに擦れ合って磨きかけられていきます。「芋こじ」が「21世紀の教育」に生かされる重要な点は、一人一人の疑問や問題を大切に、対話や話し合いを通して、自分の考えを深めていく学習にあります。

その中で「〇〇さんはすごい考えを持っているな!」「〇〇さんは優しいところがあるな!」など友だちの良さを発見することがあります。そして自分の考えを見直したり、子どもたちが互いに尊重し合う関係づくりを育てていくこととなります。

このことから、尊徳や尊親が実践した「芋こじ」の考え方は、「21世紀を生きる力」を培うための学びに生かされる大切な教育仕法であることを改めて感じさせられます。

問合せ先 教育課社会教育係 ☎ (579) 5801

Toyokoro Letter

豊頃団志から豊頃のステキを紹介します

今月は、川口舞さんが担当します!



「頑張っってね!」の温かい言葉が嬉しかった産業まつり



9月号の小笠原玄記さんに続き、今回は豊頃団志メンバーの川口舞が担当します。

まずは私の自己紹介をさせていただきます!

私は2年ほど前に結婚を機に豊頃に来ることになりました。

今は旦那の畑の手伝いをしながら暮らしています。前職は帯広で保育士をしており、茂岩保育所でも畑が暇になる冬にアルバイトとしてお手伝いをさせていただいていた時期もあります。数か月でしたが豊頃の子どもたちと過ごせたことは、良い思い出になっています。

さて、私が豊頃団志として活動している経緯を少しお話させていただきます。旦那が「豊頃男子」時代からのメンバーだったということもありますが、豊頃『団志』と名前を変え、リーダー的な存在の鎌本真理さんとの出会いが活動を始めたきっかけです。

真理さんは豊頃と出会い、豊頃の若者が町を盛り上げる力を信じて移住に踏み切ってくれました。どんどん寂しくなっている町内にブレーキをかける役を買って出てくれたのです。私もその想いに賛同し、どうせ住むなら楽しく住みたい!どこかの町村と合併してしまうのも寂しいじゃないか!私が子どもを産み育てる頃に子どもの同級生が全然いなかったら……。そんな単純な考えから活動に参加しています。「さあ!町の人口を増やして活性化だ!」そんな大きな野望が私にはあるわけではありません。まずは、『豊頃愛』のある人達で『楽しいこと』始めてみようじゃないか。豊頃の良いところは?そんな会議を毎月行っています。

それでは今月号でお伝えすることです。今年の豊頃団志は町のPR活動にプラスして町内の方にも豊頃団志の活動を知ってもらおうと、豊頃夏まつりと産業まつりにブースを設置しました!



産業まつりでは、豊頃団志企画の『とよコロック』と題して豊頃産の食材を使ったコロックを販売しようとしていましたが、現在のメンバーでは保健所の許可を取ることが難しく販売見送りになってしまいました…。予定していた豊頃産にこだわったコロックは2種類。とよしろとチーズ(ほくほくの白色の芋で中のチーズがより食欲をそそります。)の組み合わせと、ノーザンルビーとシャケ(綺麗なピンク色の芋にシャケの鮮やかなピンクがマッチして可愛らしくインパクトたっぷり。)を組み合わせたコロックです。豊頃の畑から、牛から、海からの恵



みを感じられるコロックを今回は皆さんにお届けできなく、とても残念です。来年はなんとか販売に漕ぎ着けるよう頑張ります。

産業まつりのPRブースでは町内の方だけでなく十勝管内、管外といういろんな方が足を止めて見てくれました!「頑張っってね!」と温かいお言葉もいただきました。ありがとうございました。それではまた次回!

